



野生生物と共に
生きていくために



野生生物保全管理 技術養成事業



国立大学法人北海道国立大学機構



帯広畜産大学

野生生物と人の共生へ向けて

野生生物と人が共存し、持続可能で多様性のある社会を実現するためには、行政や企業、地域住民が野
軽減・解消に向けた努力をしなければなりません。本事業では、野生生物の生息地の環境改善策や農材

1 社会人の学び直し

野生生物に関わる企業（コンサルティング会社、捕獲業者、機材開発業者など）や行政関
係者を対象に講習会を開催し、課題解決に関わる幅広い分野について高度で実践的な専門
技術を学ぶ機会を提供します。

- ・ 野生生物の生態
- ・ 保全管理手法
- ・ コミュニケーション技術など



野生生物保全管理講習会では、野生生物の保全・管理に関する基礎的な知識習得を目的に、最新知見の共有や、グループワークを取り入れることで実践力を高めます。



野生生物の調査で必要となる、痕跡や捕獲方法等の基礎的な知識習得を目的に、フィールドワークによる講習会を開催。



コウモリや野鳥といった特定の生物種についてフィールドワークを取り入れながら深く学ぶ特別講習会を開催。



野生生物対策をテーマに「人に伝える」重要性和その事例について学ぶ伝え方講習会を開催。

野生生物の保全と
管理の正しい知識を
身につけた人材を
養成します



野生生物についての正しい知識を身につけ、それぞれの立場から野生生物と人との軋轢(あつれき)の
木業被害の防除方法など、保全・管理における知識の習得と技術養成をおこないます。

2 技術指導・共同研究

野生生物の保安全管理に関する指導・助言を本事業担当教員が専門知識に基づき行い、企業・
行政機関等が実施する野生生物保安全管理事業を支援いたします。

- ・ 農畜産業への被害対策
- ・ 開発による生態系への影響把握
- ・ 開発に伴う保全対策などへの対応



現場に行き、野生生物の捕獲や保全手法のコツなどを伝えます。また、野生生物の生態を踏まえた技術や機器の開発に共同で取り組みます。写真はコウモリ保護用のバット・ボックス(巣箱)の設置。

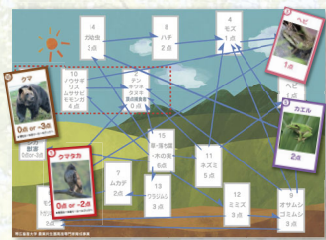


高速道路の建設に伴って生息地が分断されたエゾモモンガのため、帯広市内に設置されたモモンガ用道路横断構造物(通称:モモンガの橋)。

3 野生生物保安全管理に関する普及啓発

地域住民の方に身近な自然と親しみ、野生生物への理解を深めてもらうための取り組みを実施しています。

- ・ 地域住民を対象とした講座、観察会等の開催
- ・ 野生生物に関するパンフレット等の作成
- ・ 環境教育グッズ及びコンテンツの開発



食物連鎖の仕組みを遊びながら学べるボードゲーム「食って食われて」。



十勝地域に生息する動物の生態を知ってもらうために製作したパンフレット。



公開シンポジウムや、市民大学講座など地域住民を対象とした普及啓発活動をおこなっています。



地域住民や子どもたち、学生等を対象として、動物園等との共同による教育活動に取り組んでいます。

お問い合わせ

国立大学法人北海道国立大学機構

帯広畜産大学

国際・地域連携課

〒080-8555 北海道帯広市稲田町西2線11番地

TEL：0155-49-5235 FAX：0155-49-5229

E-mail：wildlife@obihiro.ac.jp

<https://www.obihiro.ac.jp/biodiversity>

